

2016-8-4

猿の肺

松永 繭子

提出機関：Wake Forest School of Medicine (USA)

症例：アフリカングリーンモンキー（2か月齢、雄）

病歴：不明

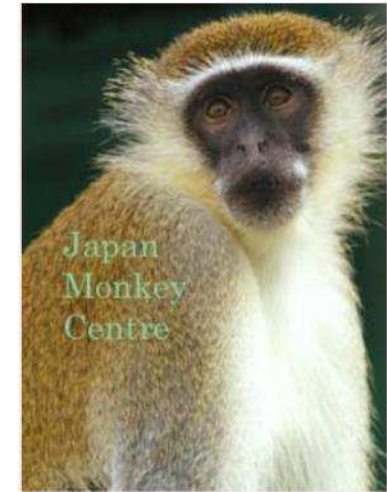
朝に敷地内で死亡を確認、その日のうちに剖検。

肉眼所見：左肺の約75%、右肺の約50%が小結節で置換
《小結節の特徴》

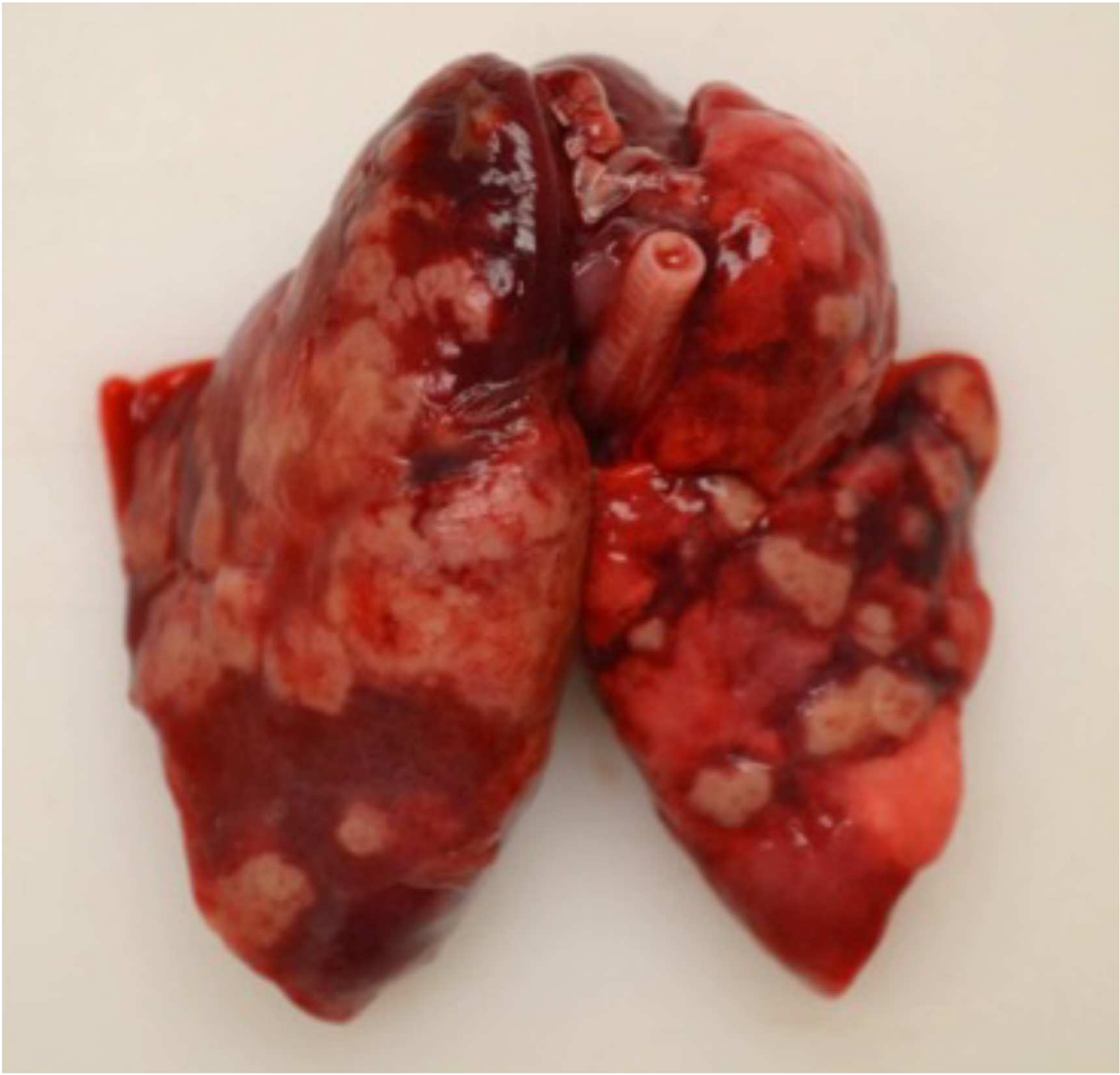
- ・ $3 \times 3 \times 3\text{mm} \sim 1.5 \times 3 \times 2\text{cm}$
- ・ 黄色味がかかった白色～褐色
- ・ 不規則に散在
- ・ 多巣性～融合性
- ・ 中心が窪んだ（臍状）
- ・ 硬結感のある
- ・ 1～5mmの暗赤色帯で囲まれていた

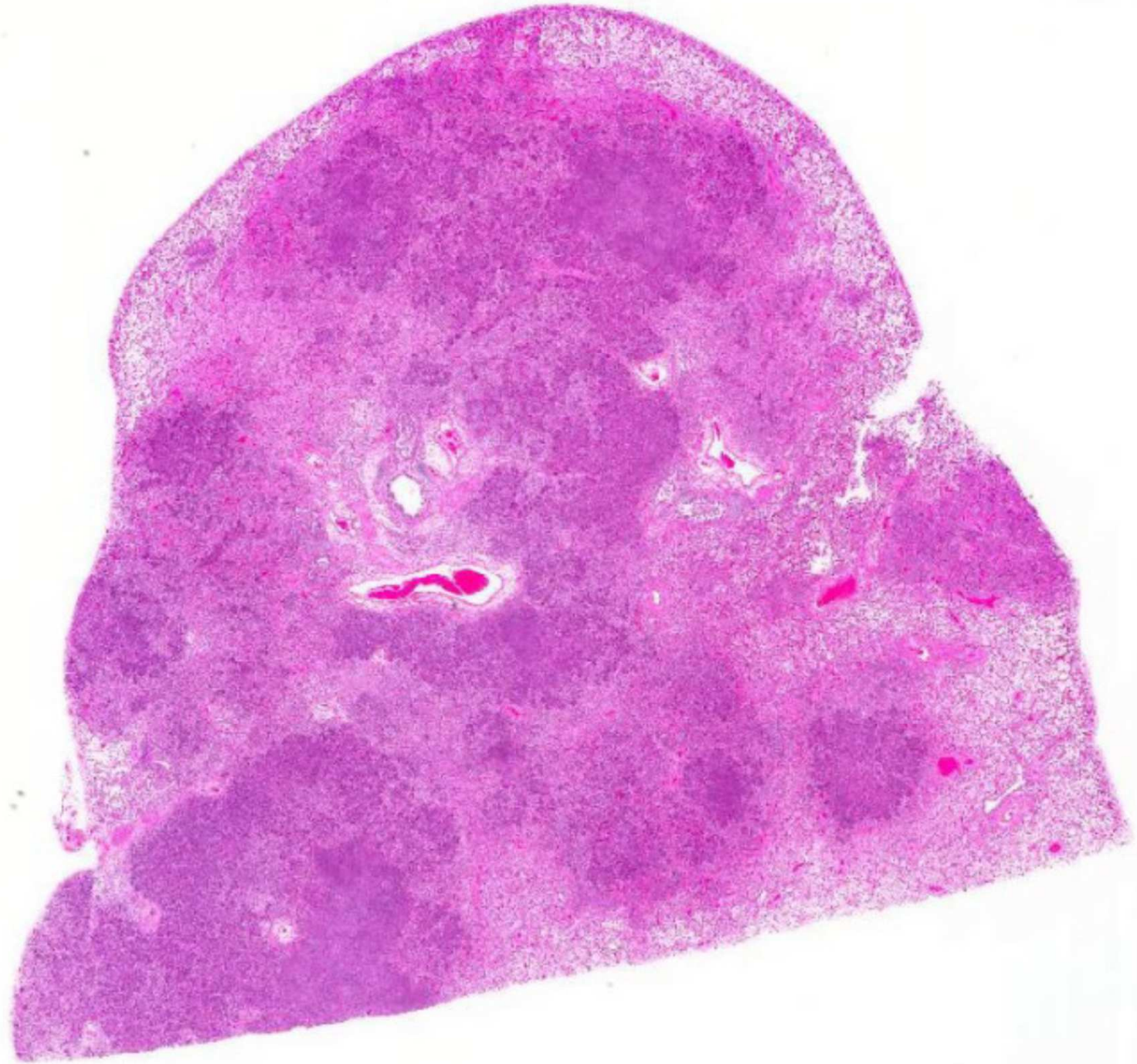
左肺の残りの約25%は暗赤色で重量感、湿感あり

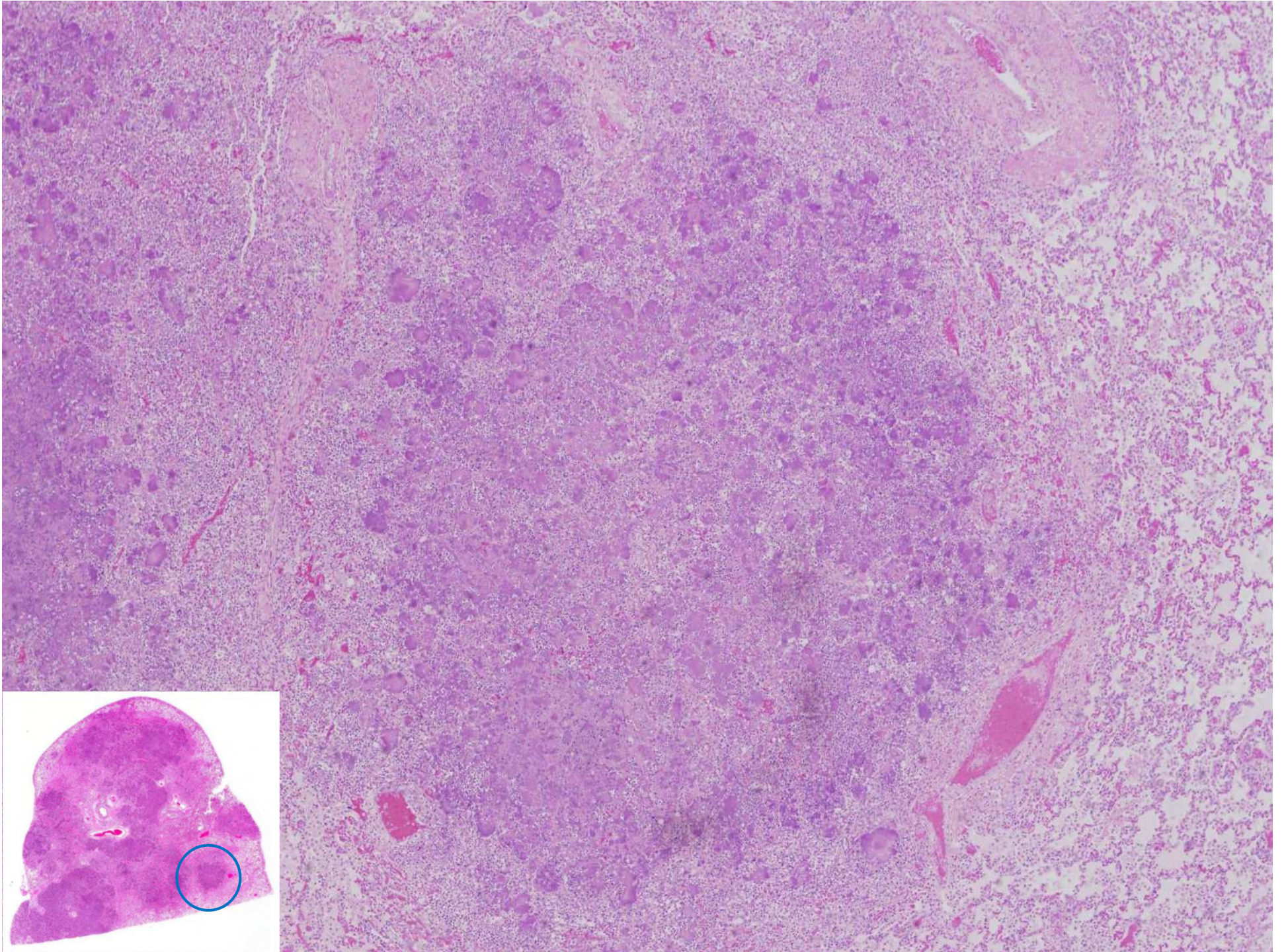
左肺の外側面は隣接する肋骨胸膜に癒着、内側面は胸腔内に崩壊

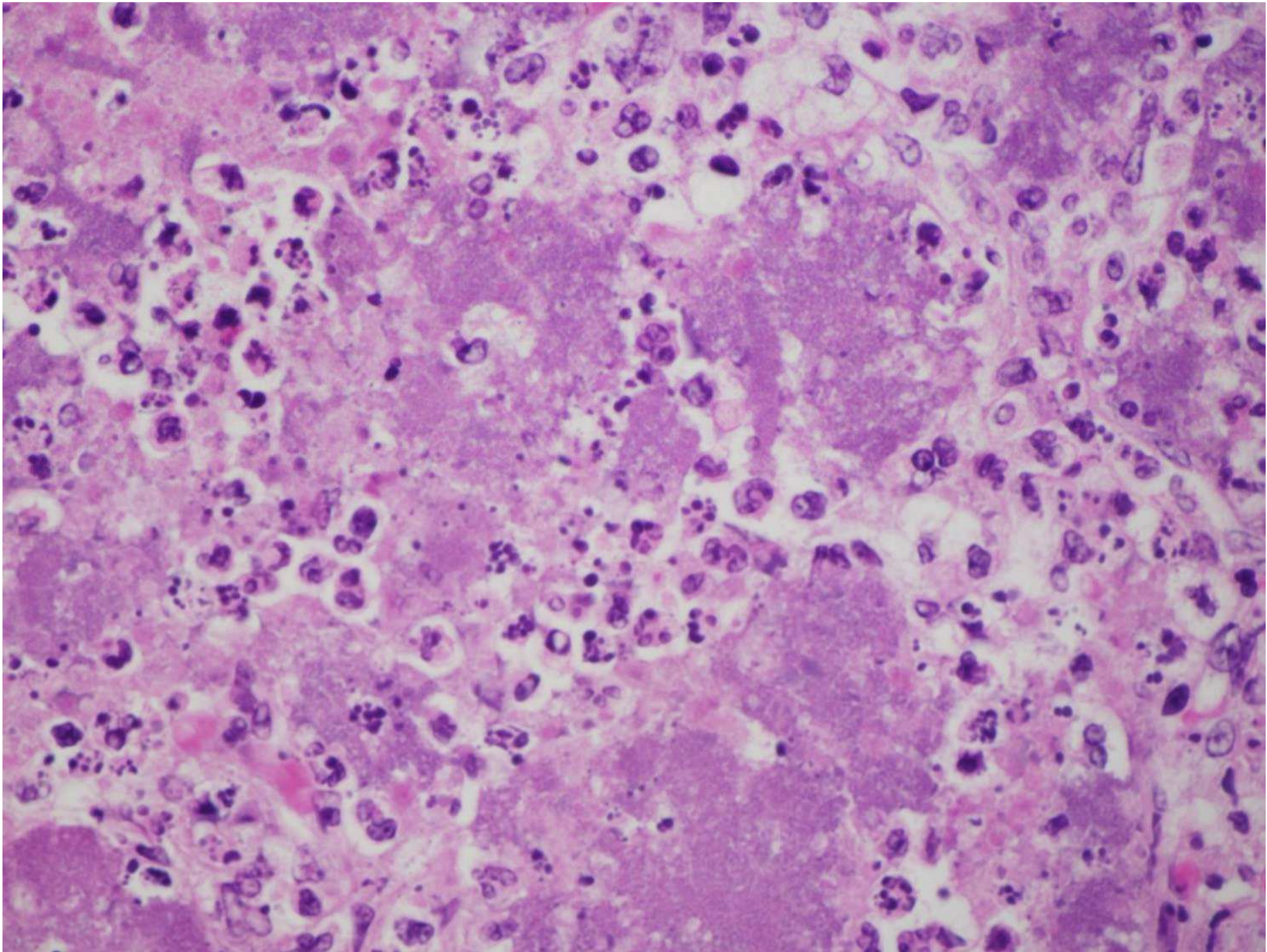


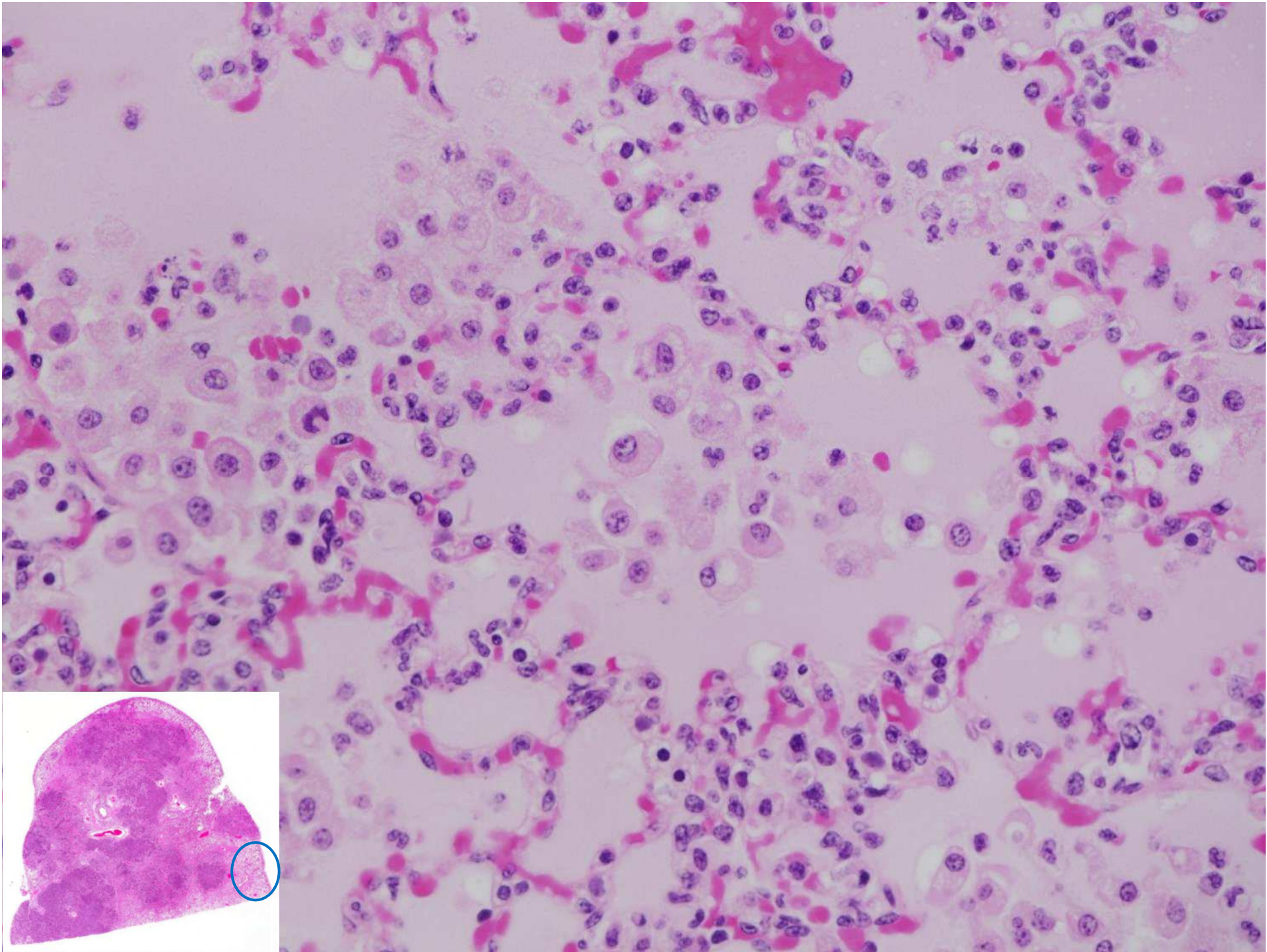
日本モンキー
センターHPより

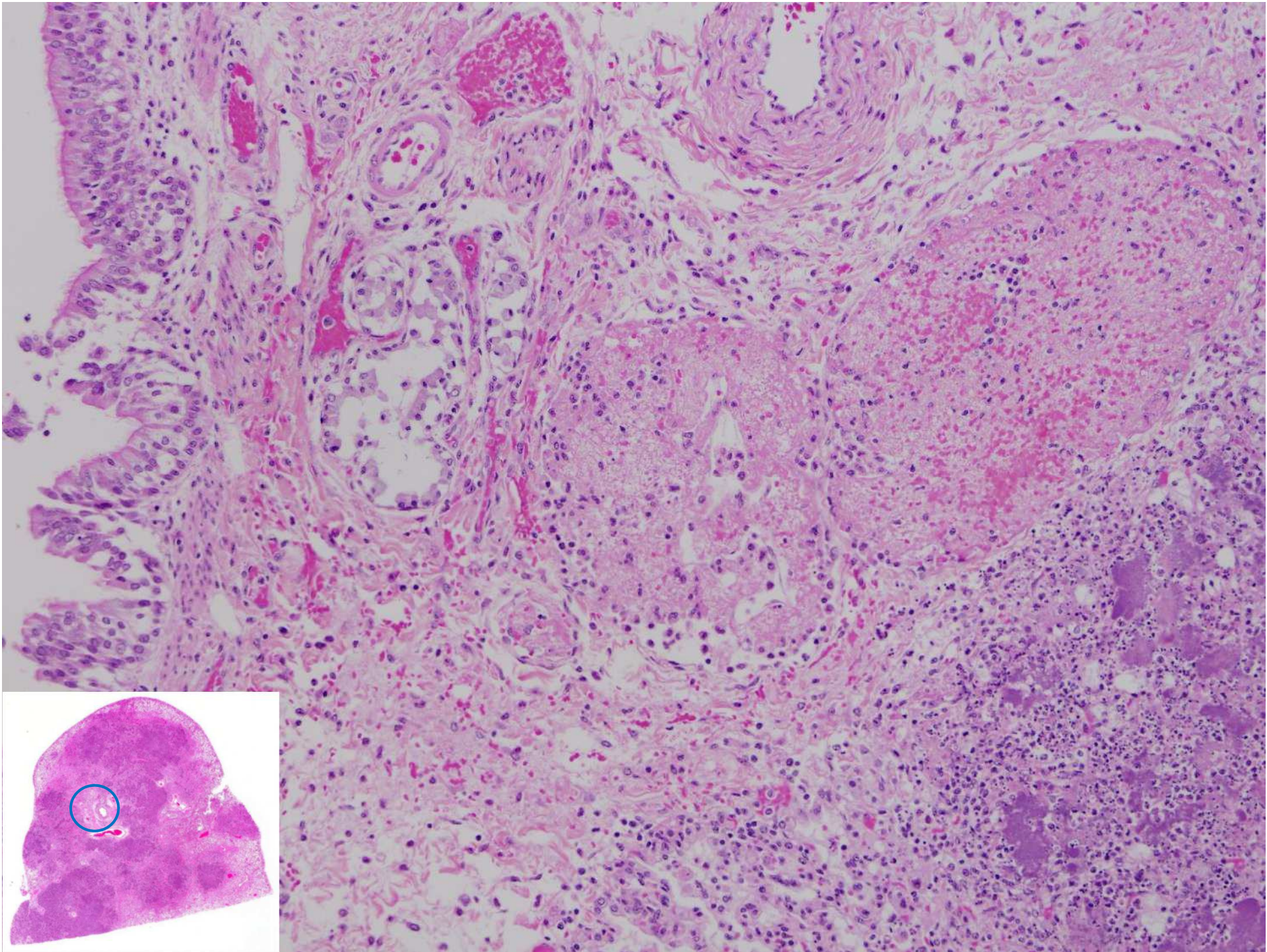












検査結果

好気培養にて *Yersinia enterocolitica* を分離

提出者の診断

桿菌 (*Yersinia enterocolitica*) を伴う、壊死性、重度、慢性、多巣性、肺炎

Pneumonia, multifocal, chronic, severe, necrotizing with bacilli (consistent with *Yersinia enterocolitica*).

JPCの診断

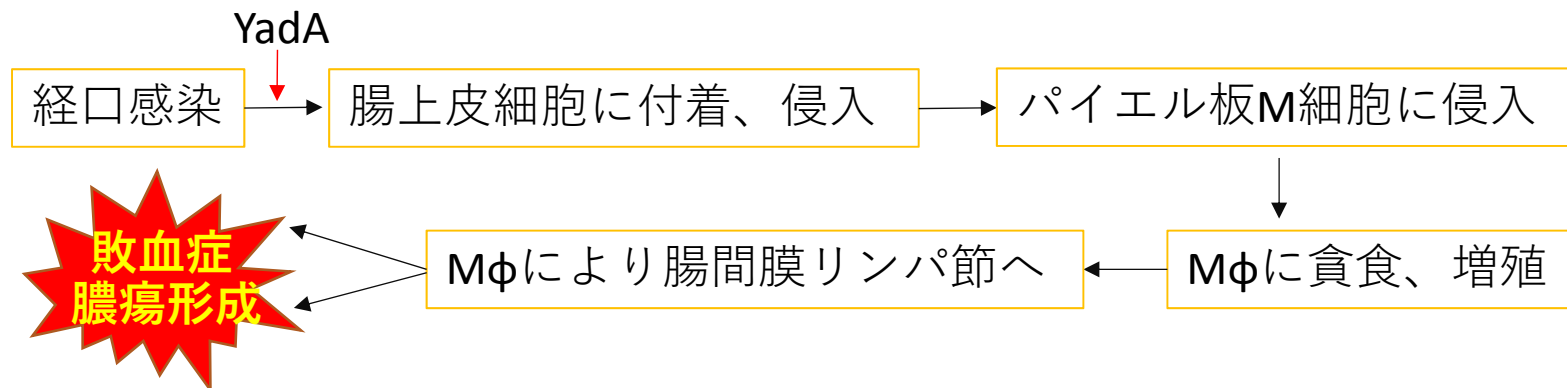
フィブリン血栓、出血、浮腫、多数の球桿菌コロニーを伴う、重度、亜急性、多巣性から融合性、壊死化膿性、肺炎

Lung: Pneumonia, necrosuppurative, multifocal to coalescing, subacute, severe, with fibrin thrombi, hemorrhage, edema, and numerous colonies of coccobacilli

提出者のコメント

*Yersinia enterocolitica*について

- ・腸内細菌科に属するグラム陰性短桿菌
- ・ブタやげっ歯類が感染源となるヒトの食中毒原因菌
- ・ヒトや動物で大型の細菌コロニーを伴う壊死性の消化器病変を形成



※YadA (*Yersinia*接着因子A) : 病原性プラスミドにコードされている
食細胞による殺菌作用や補体媒介の溶菌に抵抗を示す

➤本症例では...

- ・腸管や腸間膜リンパ節に病変なし
- ・ヒトでは細菌の吸引による感染の報告がある

➡ 呼吸器感染を疑う

会議のコメント

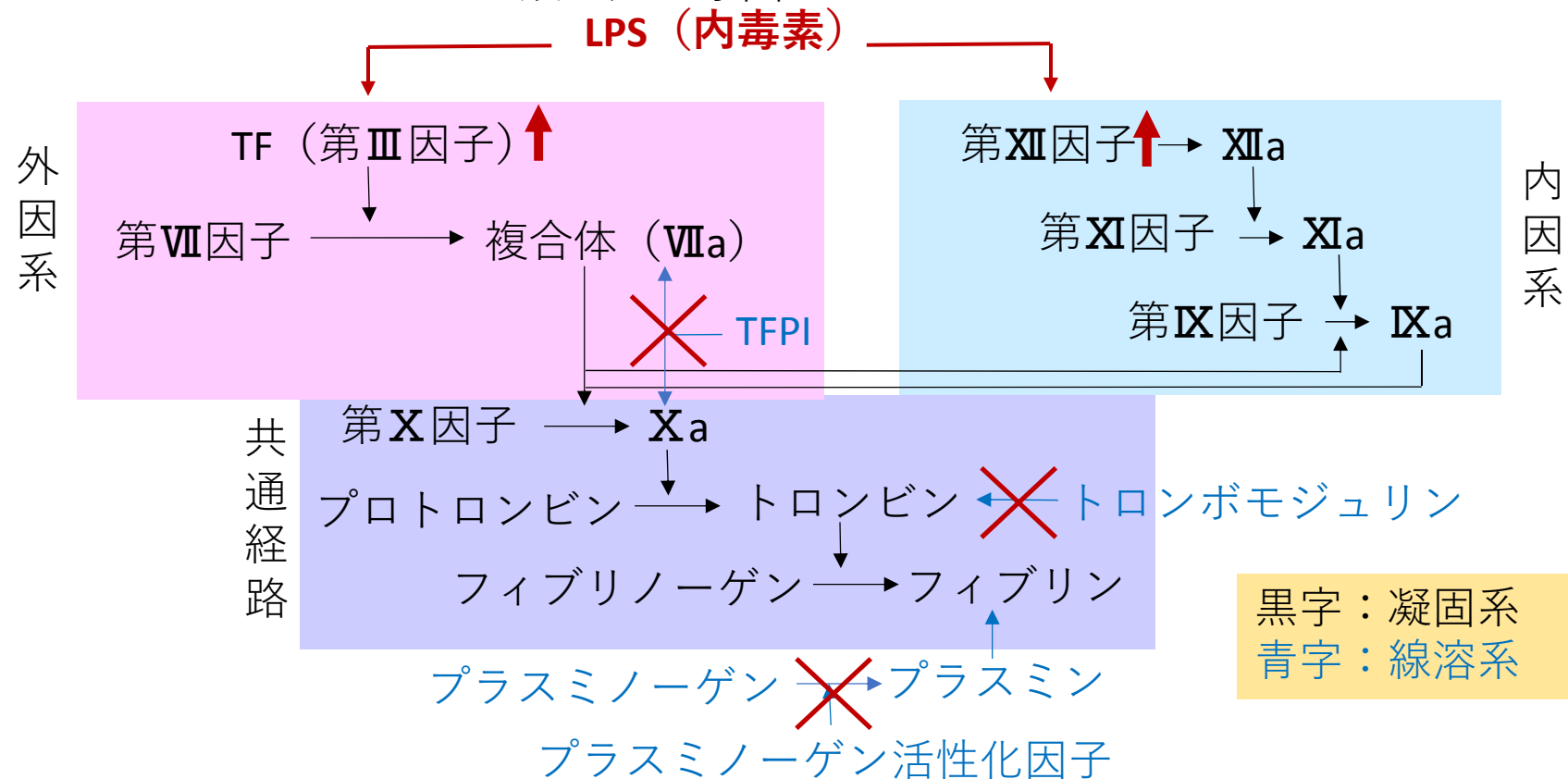
➤ 本症例は *Yersinia enterocolitica* 感染の典型例である

➤ 感染は糞口感染ではないか

ヒト以外の霊長類では糞口感染が一般的であり、エアロゾル化した糞便を介した感染でも **消化管に病変を形成せず壊死性気管支炎や肺炎を引き起こす**

➤ 無数のフィブリン血栓について

・ *Yersinia enterocolitica* は敗血症の原因となる



・ **凝固系** ≫ **線溶系** となりフィブリン沈着やDICを引き起こす